

氏 名	職 名	学 位
後藤 文夫	教授	芸術学修士

担当科目	「専攻実技（ユーフォニアム）」、「基礎演習A・B」（管弦打）、「吹奏楽Ⅰ～Ⅷ」 「室内楽Ⅰ～Ⅳ」、「教職合奏B」、「知の冒険」、「音楽批評Ⅰ・Ⅱ」
研究分野	・ユーフォニアム（管楽器）演奏法と指導法について ・音楽専攻学生にとっての吹奏楽授業の在り方（学術的見地から）
所属学会	日本管楽芸術学会 日本管打・吹奏楽学会

学会および社会における主な活動	
①令和5年9月、川越市主催「2音大クラシック・コンサート」に尚美学園大学吹奏楽団を率いて出演、吹奏楽のルーツであるハルモニウムジークを意識したメンデルスゾーンやホルストの名曲を分析に基づく確かな演奏を披露し、聴衆より高い評価を得る。 ②令和6年1月、川越市が展開する音楽アウトリーチ活動の演奏団体を決めるオーディションの予選・本選の審査員を務める。 ③令和6年3月、日本ユーフォニアム・テューバ協会主催のイベント「JETA Special Day2024」における学生コンクールのジュニア部門とシニア部門の審査委員長を務める。また両部門の予選課題曲には、自身が執筆した《無伴奏ユーフォニアムのための24のカプリス》から計5曲が採択される。	
主要研究業績	
・『ハルモニウムジークから吹奏楽への変遷に関する一考察』と題した個人研究を行い、研究レポートを提出した。	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
特になし	

氏 名	職 名	学 位
片岡 大志	教授	なし

担当科目	●基礎演習（ポップス）A/B ●ポップス・アンサンブル A/B/C/D ●総合演習（ポップス）A/B ●ソング・ライティング A/B ●専攻実技 I ～ VIII ●弾き語り基礎（ギタークラス） ●卒業研究
研究分野	●ポップス音楽分野における創作理論研究。 ●大学教育研究における音楽演奏技術・音楽制作技術のカリキュラム化。 ●生涯学習としてのポップス音楽～国内外兼業音楽家の実態調査。
所属学会	なし

学会および社会における主な活動	
●2023 年までの音楽活動歴は Wikipedia にて「片岡大志」をご参照下さい。 ●総合音楽教室「唄小屋」運営講師～通年 ●ウーマンクリエイターズカレッジ「絵本の学校」講師 ●YouTube 番組「Resounds チャンネル」音楽監修	
主要研究業績	
●2023 年 5 月・ウーマンクリエイターズカレッジ「絵本の学校」特別講義 ●2023 年 9 月・尚美 Music グランプリ 2023 ファイナリスト音源制作プロデュース ●2023 年 10 月・埼玉県朝霞市ナナコライブラリーFM「ブギウギレディオ」ゲスト出演 ●2023 年 10 月・ウーマンクリエイターズカレッジ「絵本の学校」特別講義 ●2023 年 10 月・山形県酒田市「ブルースヒロ」ライブコンサート ●2023 年 12 月・埼玉県「新宿 SACT」ライブコンサート ●2023 年 12 月・東京都新宿区「新宿 SACT」ライブコンサート ●2023 年 12 月・FM 長崎「ねるちゃん」ゲスト出演 ●2023 年 12 月・埼玉県高等学校軽音楽部連盟新人大会審査員 ●2023 年 2 月・鹿児島県鹿児島市「ココムーンハウス」ライブコンサート ●2024 年 3 月・東京都新宿区「新宿 SACT」ライブコンサート	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
川島 眞	教授	社会学修士

担当科目	(学部) 教育心理学、教育相談概論、教育相談特論 介護等体験事前指導Ⅰ・Ⅱ、心理学の基礎／人間の心理、 臨床心理学Ⅰ・Ⅱ (大学院) 教育心理学特論
研究分野	臨床心理学、教育心理学、パーソナリティ心理学
所属学会	日本心理学会、日本心理臨床学会、日本教育心理学会 他

学会および社会における主な活動	
(学外委員等) ①社会福祉法人 河田母子厚生会理事、平成 24 年 4 月～現在に至る ②埼玉県立川越特別支援学校 学校運営協議会委員 (旧学校評議員)、平成 23 年 4 月～現在に至る ③川越市立大東東小学校 学校運営協議会委員 (会長)、令和 3 年 4 月～現在に至る	
主要研究業績	
(答申書作成) ・母子生活支援施設かわだの運営上の困難を回避するための改革案 令和 6 年 3 月 かわだプロジェクト委員会委員長として取りまとめ (執筆) ・『教職課程年報』巻頭言 令和 6 年 3 月 尚美学園大学教職・資格課程センター	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
河内 純	教 授	芸術学士

担当科目	【学部】専攻実技Ⅰ～Ⅷ（ピアノ）、室内楽Ｃ・Ｄ（ピアノ）、総合演習Ａ・Ｂ（ピアノ）、卒業研究（ピアノ） 【大学院】ピアノ実習Ⅰ・Ⅱ、鍵盤音楽作品研究Ⅰ・Ⅱ、修士リサイタル、修士副論文
研究分野	ピアノ演奏法、ピアノ教育法
所属学会	（公財）日本ピアノ教育連盟、（一社）全日本ピアノ指導者協会、埼玉県音楽家協会、国際ピアノデュオ協会

学会および社会における主な活動	
【審査】 ・ピティナ・ピアノコンペティション西日本京都E級地区本選 令和5年7月 ・第35回ピアノコンクールミリオン2023 1次予選A・C部門 令和5年8月 ・チェコ音楽コンクール2023 本選会 ピアノ部門 令和5年10月 ・日本ピアノ研究会第23回北関東Cジュニアピアノコンクール本選会B・C・D・E課程 令和5年10月 ・日本ピアノ教育連盟 第40回ピアノオーディション四国東部地区予選幼児・JⅠ・JⅡ・A～D部門 令和5年11月 ・第28回美里町遺跡の森ピアノコンクールA・B・D・E部門 令和5年11月 ・2024カワイこどもピアノコンクール小山地区オーディションソロ部門Cコース、連弾部門Cコース 令和5年12月 ・2024カワイこどもピアノコンクール群馬地区オーディション連弾部門A・B・Cコース 令和5年12月 ・2024カワイこどもピアノコンクール川越地区オーディションソロ部門Bコース、連弾部門Bコース 令和5年12月 ・日本ピアノ教育連盟 第40回ピアノオーディション全国大会チャレンジ部門 令和6年3月 【学会活動】 ・日本ピアノ教育連盟 理事・教育セミナー委員長・関東甲信越支部長 ・埼玉県音楽家協会 会長	
主要研究業績	
【コンサート】 ・ピアノコース教員による教育研究演奏会 令和5年6月 尚美パストラルホール 演奏曲目：ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ 第27番 ホ短調 作品90 ・尚美学園大学教員によるファカルティコンサート 令和5年10月 ヤマハ銀座コンサートサロン 演奏曲目：ショパン／ワルツ 作品34、作品69 【伴奏】 ・吉田旅人バリトン・リサイタル 令和6年3月 日暮里サニーホール 演奏曲目：ブラームス／美しきマゲローネのロマンス 作品33	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
小島 有利子	教授	Doctor of Musical Arts

担当科目	音楽作品分析研究 I, 音楽作品分析研究 II, 電子音響音楽特殊研究, 音楽理論特殊研究, 修士論文主査, 総合演習 A/B(作曲), 基礎演習 A/B/C/D(作曲), 現代音楽研究/20 世紀音楽研究, 専攻実技 I~VI
研究分野	作曲 (管弦楽, 室内楽, 独奏曲, 邦楽曲等), 電子音響音楽 (fixed, mixed, live electronics, sound design, sound installation, ダンス・コラボレーション等), 音楽学 (電子音響音楽の分析と歴史, 音楽創作の美学等), 音楽理論 (楽曲分析)
所属学会	日本現代音楽協会, 日本作曲家協議会, 日本音楽知覚認知学会, 先端芸術音楽創作学会, International Computer Music Association, IRCAM Forum

学会および社会における主な活動
- 東京国際芸術協会 第 34 回および第 35 回 TIAA 全日本作曲家コンクール審査員を務めた。 - 特定非営利活動法人 日本現代音楽協会メディアプロジェクト委員会委員を務めた。 - 日本現代音楽協会 国際部委員として、2024 年 1 月に東京オペラシティリサイタルホールで開催された国際現代音楽協会”世界音楽の日々”100 周年記念コンサートの企画運営に携わった。 - NPO Glovill 創業者・理事・芸術監督として社会貢献活動に携わった。
主要研究業績
- ICMA (International Computer Music Association) 国際コンピュータ音楽学会主催 ICMC (International Computer Music Conference) 国際コンピュータ音楽学会中国深圳大会において行われたパネルディスカッション「Historiographies of Women in the Sonic Arts」においてパネリストとして選ばれオンライン登壇し研究を口頭発表した。 - コロンビア大学 GSAS 芸術科学大学院音楽部作曲科客員研究員としてコロンビア=プリンストン電子音楽センターにおいて研究調査を行った。コロンビア大学 GSAS 芸術科学大学院音楽部作曲科からの要請により、大学院作曲セミナーにおいて「Intersections: Awareness of Who I Am」と題する講演を行った。 - ISCM (International Society for Contemporary Music) World New Music Days 国際現代音楽協会”世界音楽の日々”100 周年記念コンサートにおけるプログラム冊子の中で、フィンランドの女性作曲家 Kaija Saariaho の無伴奏ソロ・チェロ作品「Sept Papillons」について曲目解説を執筆した。
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏 名	職 名	学 位
坪口 昌恭	教授	工学士

担当科目	専攻実技 I～VIII、キーボード演習 I・II、アドリブ演習 A・B、副科ジャズピアノ ポップスハーモニーA・B・C・D、卒業研究、 ジャズ&コンテンポラリー実習 I・II、ジャズ&コンテンポラリー作品分析 I・II、 リサイタル演習
研究分野	■ジャズ・イディオムに基づくピアノ演奏ならびに作編曲 ■エレクトロニクスを駆使した即興演奏ならびに音楽制作 ■バリー・ハリス・メソッドに基づくジャズの教育手法 ■ミクスチャー・ミュージック探求
所属学会	■日本ポピュラー音楽学会 ■日本コンピュータ音楽協会

学会および社会における主な活動
<令和5年度> ■「Ortance」ライブ活動(主宰/鍵盤/作曲、4公演、WALL&WALL、神田 POLARIS 他) ■「シン・東京ザヴィスルパッハ」ライブ活動(主宰/鍵盤/作曲、2公演、新宿 PIT INN) ■「Radio-Acoustique」ライブ活動(主宰/ピアニスト/作曲、3公演、公園通りクラシックス他) ■「坪口昌恭 3M TRIO」ライブ活動(主宰/ピアニスト/作曲、2公演、No Room For Squares) ■「坪口昌恭 Solo」ライブ(吉祥寺 MANDA-LA2、3月) ■「坪口昌恭北陸トリオ」ライブ(武生 RagtimeClassics、8月) ■「S の Environment」第3回目公演(弦楽と電子音楽、公園通りクラシックス、1月) ■「akiko×坪口昌恭」山陰～山陽ツアー(3公演、出雲大社、東広島、岡山、4月) ■「大塚広子 presents GREAT LIVE」(4公演、大阪 Mister Kelly's、六本木 Alfie、7月10月1月) ■「坂田 明×Triple Edge」ライブ活動(ツアー含む6公演、富山、金沢、武生、名古屋) ■「REVUE THE FULLDESIGN 2023」レーベル23周年記念ライブ(新宿 PIT INN、9月) ■「doubtmusic vs FULLDESIGN RECORDS session」(入谷なってるハウス、12月) ■「吉田達也/坪口昌恭/加藤一平」完全即興ライブ(吉祥寺曼荼羅、2月) ■「坪口昌恭×河合代介」PianoとHammond B3 DUO 公演(蔵 Our Delight、2月) ■「笛吹かな、松山夏子、清水昭好、坪口」Session(蔵 Our Delight、6月) ■「及川陽菜&坪口昌恭 DUO」埼玉県民の日企画・Love Saitama(東武百貨店池袋、11月) ■「密 season1-11」大島輝之、大谷能生にゲスト出演(神田 POLARIS、5月) ■「stelle della tastiera」坪口昌恭 × 坂口光央(神田 POLARIS、6月) ■「若緑勢曾我」tatsu/坪口昌恭/みどりん(神田 POLARIS、11月) ■「朔の夜に咲く音華」今堀恒雄&坪口昌恭 DUO(下北沢 LADY JANE、10月) ■「わくらばにセッション」今堀恒雄/外山明/坪口昌恭(関内 Live Cafe Stormy Monday、1月) ■「今堀恒雄 ELENIGMA」Session(高円寺 JIROKICHI、1月) ■「五十嵐一生エレクトリック・セッション」(2公演、六本木 Elektrik 神社、10月12月) ■「福井キッズコーラスファミリー」ピアノ編曲伴奏(福井県越前陶芸村文化交流会館、12月) ■音楽表現学科ジャズ専攻「第10回定期演奏会」(企画/運営/出演、新宿 PIT INN、2月)
主要研究業績
<令和5年度> ・執筆活動とトークイベント

- タワーレコード発行 intoxicate 誌への投稿(年間3回、藤井風ピアノスコア、マイルス・デイビス再発CDに関するレビュー)
- BLUE NOTE CLUB への投稿(ジャズ情報サイトへ5枚の歴史的な作品について解説)
- シンセサイザー専門誌 FILTER (Vol.06)にて、新製品「SOMA Pulser-23」機材レビュー
- 『神曲のツボ!「カッコいい」の構造分析』発刊記念トークイベント(第3回、第4回)
- ・音楽活動(録音作品)
- リーダーバンド Ortance 2nd Album「SCENERY」を APOLLO SOUNDS よりリリース
- 菊地雅晃「波紋(hammon)」(CERBERAQ RECORDS)に各種キーボードで参加
- 崎山蒼志のシングル「しょうもない夜」(Sony Music)のレコーディングに参加しMVにも出演
- 坪口昌恭 3M TRIO のライブ動画を Youtube に公開(5曲)
- モジュラー・シンセサイザー・ソロ動画を Youtube にて公開
- 坪口昌恭 SOLO 演奏動画を Youtube にて公開
- ・学生指導
- 国府弘子客員教授特別講座 企画オーガナイズ、指導サポート(6月、1月)

文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績

特になし

氏 名	職 名	学 位
宮本 憲二	教授	芸術学士

担当科目	学部：音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、音楽科教育実践研究、 教育実習指導 A・B、教職実践演習、総合的な学習の時間の指導法 大学院：音楽教育研究法、音楽教育特殊研究、音楽教育フィールド研究 B
研究分野	音楽教育学、教員養成
所属学会	日本教育学会、日本音楽教育学会、日本学校音楽教育実践学会 日本教材学会、東洋音楽学会、当道音楽会

学会および社会における主な活動	
〈取得免許・資格等〉 ・ 中学校教諭（音楽）、高等学校教諭（音楽）教員免許状取得 ・ 生田流箏曲・野川流三絃職格（教授資格）取得 ・ 奈良県公立学校管理職候補者選考試験（教頭）合格 ・ 奈良県公立学校管理職候補者選考試験（校長）合格 〈学会における活動及び役員等〉 ・ 日本教育学会、日本音楽教育学会、日本学校音楽教育実践学会、日本教材学会、東洋音楽学会、当道音楽会 各会員	
主要研究業績	
・ 令和 5 年度分のみを記載。 〈論文〉 ○「総合的な学習の時間の指導法」に関する研究Ⅱ 一年間指導計画の考察を中心として －（単著）：尚美学園大学教職課程年報第 6 号/尚美学園大学教職・資格課程センター/令和 6 年 3 月	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
・ 令和 5 年度については、なし。	

氏 名	職 名	学 位
林 容子	准教授	芸術学修士（MFA）

担当科目	美術、空間芸術論、アートマネジメント、美学、 アートマネジメントⅠ、Ⅱ（大学院）
研究分野	アートマネジメント、アートと医療福祉、芸による社会包摂、社会的処方としての芸術、アートが高齢化に与える臨床効果
所属学会	ICOM 国際博物館会議 全国美術館会議 個人会員

学会および社会における主な活動	
一般社団法人アーツアライヴ 代表理事として以下の事業を主催 ① 社会的処方 対話型鑑賞プログラム ARTRIP の企画、実施 ② 人材育成：ARTRIP アートコンダクター養成講座（初級、中級） 実施、講師 ③ アートを通じた企業研修 ACP 企画、実施 ・令和 5 年度内閣府孤独・孤立防止対策 モデル事業採択 ・全国の美術館における社会的処方としての対話型鑑賞事業の開催（全国 420 館の美術館アンケートと、10 館の美術館におけるプログラムの実施、報告会の開催）日本財団助成事業 ・横浜市健康福祉局高齢施設課 「施設内高齢者の回想法等を用いた健康づくり事業」受託 聖路加国際大学 ヘルスヒューマニティーズ講座 講師 埼玉県 令和 4 年度 創造的活動文化芸術活動助成 審査員 川崎市 文化賞 審査員	
主要研究業績	
論文： Productive arts engagement at the Tokyo Fuji Art Museum and its health effects on the older Japanese population: results of a randomized controlled trial Yoko Hayashi Jacqueline Matskiv Kevin Galery Olivier Beauchet Front. Med., 06 July 2023 Sec. Family Medicine and Primary Care Volume 10 - 2023 https://doi.org/10.3389/fmed.2023.1188780 ・全国美術館における認知症を含む高齢者対象プログラムの実施実態調査（日本財団助成）	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
・内閣府 孤独・孤立予防対策モデル事業調査事業（採択） ・日本財団 2023 年度助成事業（社会福祉、教育、文化の事業）採択 ・横浜市高齢施設課 施設高齢者の健康づくり事業 採択	

氏 名	職 名	学 位
藤田 千章	教授	法学士

担当科目	「プリプロダクション演習Ⅰ、Ⅱ」「基礎演習 C、D」「総合演習 A、B」「ソング・ライティング C、D」「専攻実技Ⅰ～Ⅷ」「卒業研究」
研究分野	音楽制作全般。ハードウェア、ソフトウェアのオペレーション、特性など。サウンド・デザインとアレンジメント、コンポーズ。ポップスの実演とレコーディングの実践。
所属学会	なし（音制連、JASRAC 会員、ユニバーサル・ミュージック所属）。

学会および社会における主な活動 昭和 63 年メジャー・デビュー。本人（キーボード&トラックメイク、コンポーズ、アレンジメント担当）、ボーカル・佐藤竹善、ギター・西村智彦の 3 名からなるユニット「Sing Like Talking」で活動、14 枚のオリジナル・アルバムをリリース（ファンハウス、BMG を経てユニバーサル・ミュージック、UMA）。昨年 35 周年記念公演を開催し、36 年目を迎えた。未だ最前線で活躍。 YouTube 上で展開している「Sing Like Talking 公式チャンネル」では様々なコンテンツをアップ。新しい可能性に取り組んでいる。 一方、プロデューサーとして平成 10 年頃から数々のゲーム音楽、舞台音楽の制作にも取り組む。「サモンナイト」、「マグラムロード」シリーズはその代表作。 アレンジャー、コンポーザーとして参加したポップス作品は数多。他アーティストへの作品提供も多数である。 令和 4 年 4 月、ソロアルバム「un-categorized Default」をユニバーサル・ミュージックからリリース。デイリー・チャートを賑わせ、全世界配信し、特にスペイン、セルビア、イギリス、ニュージーランドなど世界各国のサブスクリプションの「プレイリスト」に採用され、反響を呼んだ。今年 2 月、ソロ第 2 弾「multidimensional」をリリース。 海外との交流も盛んで、有名な海外のエンジニア、ミュージシャン、クリエイターとの親交も深い。 メディアへの露出はラジオ、テレビ、ウェブ・ニュースを中心に未だ枚挙に暇がない。
主要研究業績 令和 5 年 4 月、Sing Like Talking として「おかえりニシムラ、ありがとうサンブラ」公演を中野サンプラザホールで開催。即日完売。 同年 9 月、Sing Like Talking として 2 年ぶりのシングル「Blue Birds」を自身の作詞曲、編曲でリリース。 同年 9 月、10 月、東京、大阪で 35 周年記念公演「OFF THE CHAIN」開催。即日完売。 更に Sing Like Talking 35 周年記念主催イベント「Friends」を東京ドーム City Hall で開催。小田和正、渡辺美里、宮沢和史、押尾コータロー、森口博子（敬称略）他、実力派アーティスト等の参加、協力を得て大成功。即日完売。 令和 6 年 2 月、ソロ第 2 作となる EP「multidimensional」リリース。
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績 特になし。

氏 名	職 名	学 位
前田 拓郎	准教授	修士（音楽）

担当科目	【学 部】専攻実技(ピアノ) / 基礎演習 A, B (ピアノ) / ピアノ指導法 A, B 【大学院】鍵盤音楽作品研究 I II / アンサンブル演習 II / ピアノ実習 I II
研究分野	ピアノ演奏法、ピアノ指導法
所属学会	公益財団法人日本ピアノ教育連盟、国際ピアノデュオ協会

学会および社会における主な活動	
【コンクール審査等】 ・(公財)日本ピアノ教育連盟 第40回ピアノ・オーディション 地区大会 (令和5年11月) ・第56回カワイ音楽コンクール予選会 (令和5年12月) ・第33回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 (令和5年12月) ・第8回 ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジア 東京予選Ⅱ (令和6年1月) ・川越市人材発掘 公開オーディション ～あなたの音楽力を次世代に～ (令和6年1月) 【学会その他の活動】 ・国際ピアノデュオ協会 事務局長 (協会の運営・管理、コンクール運営等) ・(公財)日本ピアノ教育連盟 中央運営委員(教育セミナー委員)／研究大会実行委員	
主要研究業績	
【執筆等】 ・(公財)日本ピアノ教育連盟 会報誌「KlavierPost 154号」において、「広報部企画 “私の愛聴盤” Vol.6」を執筆。(令和5年8月、JPTA 会報誌「KlavierPost 154号」) 【講座】 ・文化庁主催／全国芸術系大学コンソーシアム及び協力大学共催「令和5年度 芸術系教科等担当教員等 全国研修会」において講師を務める。(令和6年2月、東京芸術大学 千住キャンパス スタジオ) 【演奏】 ・〔2台ピアノ〕 尚美学園大学ピアノ教員による「教育研究演奏会」(令和5年6月、尚美パステラルホール) ・〔ソロ〕 尚美学園大学教員による FACULTY CONCERT 「ショパン ワルツ・即興曲 全曲演奏会」(令和5年10月、ヤマハ銀座コンサートサロン) ・〔共演〕 DAC Trumpet Fair 2023 特別企画「阿部一樹トランペットリサイタル」(令和5年10月、スペース Do) ・〔ソロ・共演〕 SIA 株式会社「20周年感謝の会」における演奏 (令和5年12月、帝国ホテル 孔雀の間(南))	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏 名	職 名	学 位
齋藤 真由美	専任講師	修士（音楽）

担当科目	・専攻実技(フルート)Ⅰ～Ⅷ ・卒業研究 ・基礎演習(管)C, D ・総合演習(管)A, B ・教職合奏 A
研究分野	ソロ・室内楽・オーケストラにおけるフルート演奏、教育
所属学会	・日本フルート協会 ・日本管楽芸術学会

学会および社会における主な活動
・社会福祉法人桂樹会評議員(平成 29 年～) 演奏会企画、演奏者派遣、動画配信（令和 5 年 12 月、令和 6 年 1 月） ・公益財団結城市文化・スポーツ振興事業団 令和 5 年度自主事業アクロスフルートコンサート 開催協力（令和 5 年 8 月） ・TCG フルートオーケストラ演奏会 企画、開催協力（令和 5 年 8 月、令和 6 年 2 月） ・真岡市教育委員会生涯学習課公民館二宮分館市民講座 講師（令和 6 年 3 月） 「初めてのフルート」「フルートアンサンブル」 ・高大連携講座 講師（令和 5 年 10 月、11 月・堀越高校） 「フルート・ドイツ音楽の変遷」「フルート・フランス音楽の変遷」
主要研究業績
【演奏】 ・公益財団法人結城市文化・スポーツ振興事業団令和 5 年度自主事業 アクロスフルートコンサート in SUMMER（令和 5 年 8 月・結城市民センターアクロス小ホール） ・2023TCG フルートオーケストラ演奏会 in 茂木（令和 5 年 8 月・茂木町民センターゆずもホール） ・2023TCG フルートオーケストラ演奏会 in 宇都宮（令和 5 年 8 月・栃木県総合文化センターサブホール） ・2024TCG フルートオーケストラ演奏会 in 茂木（令和 6 年 2 月・茂木町民センターゆずもホール）
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし